

(1) 第4回振興計画審議会における意見とその対応

※基本目標1の基本施策(1)を1-(1)と表記。全体に関するものは「施策全体」、分野に関するものは「基本目標〇に関する意見」と表記

No	該当施策番号※	ページ	意見の概要	前期基本計画への修正対応
第五次宜野湾市総合計画前期基本計画について				
1	2-(1)	17	基本施策(1)の目指すまちの姿について違和感がある。「未来の担い手であるこどもたちが笑顔で安心して健やかに育つまち」ではなく、「未来の担い手であるこどもたちが夢をもち笑顔で健やかに育つまち」のように、未来への希望を含んだ表現はどうか。	<ul style="list-style-type: none"> ご意見を踏まえ、修正しました。 P17、目指すまちの姿、3～4行目 修正前：「～未来の担い手であるこどもたちが笑顔で安心して健やかに育つまち～」 修正後：「～未来の担い手であるこどもたちが夢を持ち笑顔で健やかに育つまち～」
2	5-(5)	62	施策の展開②「都市基盤の整備」について、バリアフリーへの対応が読み取れないため、位置づけが必要ではないか。	<ul style="list-style-type: none"> ご意見を踏まえ、記載を修正しました。 P61、目指すまちの姿 修正前：「～各種計画に基づいた土地利用の規制・誘導を図るとともに、秩序ある都市基盤の整備、計画的な住宅・住環境の整備に努め、誰もが快適に暮らし続けられるまちを目指します。」 修正後：「～各種計画に基づいた土地利用の規制・誘導を図るとともに、<u>バリアフリー等に配慮した安全・安心な都市基盤の整備</u>、計画的な住宅・住環境の整備に努め、誰もが快適に暮らし続けられるまちを目指します。」
3	6-(1)	71	目標指標「基地被害に関する市民アンケートの実施」について、目標値がアンケートの「実施」となっているが、5年間かけてアンケートを行う認識でよいのか。「結果の公表」といった表現がよいのではないか。	<ul style="list-style-type: none"> 5年以内にアンケートの実施及び公表までを想定しているため、記載を修正しました。 P71、目標指標 修正前：「基地被害に関する市民アンケートの実施」 修正後：「<u>基地被害に関する市民アンケートの実施及び結果の公表</u>」
4	6-(2)	76	P76の図について赤字で「コリドー側西普天間線は削除予定」とあるが、どのような意図か。	<ul style="list-style-type: none"> P76の図面を最新のものに差し替えました。
5	施策全体	-	各基本施策がSDGsのどの目標に該当するのか表現できるとよいのではないか。	<ul style="list-style-type: none"> ご意見を踏まえ、表現を修正しました。 P7以降、ページ右上 修正前：空白 修正後：対応するSDGsの目標のアイコンを配置
6	施策全体	58 79	P58にある環境思想やP79にある平和思想など、「思想」の表現に違和感がある。位置づけは教育程度に思われる。	<ul style="list-style-type: none"> ご意見を踏まえ、記載を修正しました。 P58、施策の展開① 修正前：「<u>環境思想の普及・啓発</u>」 修正後：「<u>環境意識の啓発</u>」 P79、施策の展開① 修正前：「<u>平和思想の啓発・発信</u>」 修正後：「<u>平和意識の啓発</u>」 P79、施策の展開①、2行目 修正前：「～命の尊さ（<u>平和思想</u>）を発信し～」 修正後：「～命の尊さを発信し～」 P79、施策の展開①、主な取り組み 修正前：「<u>平和思想の市民への普及啓発及び平和学習の充実</u>」 修正後：「<u>平和意識の啓発及び平和学習の充実</u>」

No	該当施策番号※	ページ	意見の概要	前期基本計画への修正対応
第三期宜野湾市まち・ひと・しごと創生総合戦略について				
7	総合戦略に関する意見	14	多様な人材の活躍の推進、1行目について、総合計画と同様、協働の主体に教育機関も加えていただきたい。	<ul style="list-style-type: none"> ご意見を踏まえ、修正しました。 P14、基本的方向⑤、1～2行目 修正前：「まちづくりを担う協働の主体（自治会、NPO、ボランティア団体、市民団体、企業等）～」 修正後：「まちづくりを担う協働の主体（自治会、NPO、ボランティア団体、市民団体、企業、<u>教育機関</u>等）～」
8	総合戦略に関する意見	14	多様性を認め合う社会づくりの一つ目の取り組みについて、学校も加えて欲しい。	<ul style="list-style-type: none"> ご意見を踏まえ、追記しました。 P14、具体的施策、多様性を認め合う社会づくり 修正前：「家庭・地域・職場におけるインクルージョンの啓発」 修正後：「家庭・地域・職場・<u>学校</u>におけるインクルージョンの啓発」
9	総合戦略に関する意見	-	<p>宜野湾市に在住する外国人向けの施策が無い印象を受ける。近年は、外国人雇用者の拡充の関心も高いと思うが総合戦略には該当しないか。</p> <p>宜野湾市は、留学生が多いが定住者は少ない印象がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ご意見を踏まえ、外国人に関する施策を追記しました。 P14、具体的施策 修正前：追加 修正後：多文化共生地域づくりの推進 ▶在住外国人の行政手続き支援 ▶市政情報の多言語対応

(2) その他いただいた意見や質問等

第五次宜野湾市総合計画前期基本計画について				
10	4 - (4)	48	<p>施策の展開③「新たな働き方の実現支援」について、定年は60歳だが年金の支給が65歳からであるため、生活上の不安がある。現在の職場も定年を迎えると給与が4割減になる。</p> <p>高齢者も働ける環境づくりについて、沖縄県内の中小企業ではあまり理解が進んでいないように思うため、経営者への教育が重要ではないか。</p> <p>労働者の声については、労働団体が要望し、少しずつ変えていくしかないと思う。連合会でも協力してきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」に基づき、高齢者の雇用確保について経営者側、労働者側へ周知を図ってまいります。
11	5 - (1)	53	基本施策(1)防災及び救急・消防体制の強化に関係すると思われるが、福祉避難所の充実度はどうか。記載がないため、位置づける必要があるのではないか。	<ul style="list-style-type: none"> 福祉避難所は今後の課題であるため、P53、現状と課題に「多様な避難者への対応を含めた避難所運営の充実を図る必要があります。」と記載しています。福祉避難所は、現在、公共施設が10カ所、民間協定施設（高齢者福祉施設）が3カ所となっております。今後は障がい者施設との連携を行い、対象者の状態に応じた避難施設の確保に努めてまいります。
12	5 - (1)	53	目標指標である「普通救命講習等受講者数」について、目標値を330人増の3,000人としているが、他の指標と比べて指標として妥当な伸びなのか気になるため、考え方を伺いたい。	<ul style="list-style-type: none"> 救急出動件数が年々増加している影響で救急車の現場到着時間も遅延傾向にある現状においては、一般市民が救急隊到着前に行う応急手当が救命率向上の重要な要素となっております。そのため、応急手当の普及・啓発を図ることは消防の責務と考えます。新たな指標では、普通救命講習等の受講率を県内の他市消防と比較し、最も高い数値となる人口の3%（受講者3,000人）に設定しております。

No	該当施策 番号※	ページ	意見の概要	前期基本計画への修正対応
13	5 - (1)	53	福祉避難所として指定していても運用されていない施設もあるようなので、円滑に開設できるよう取り組んでいただきたい。	・これまで福祉避難所については、指定は行っているものの、開設にいたったことはないため、円滑な開設や開設状況の周知等について、検討してまいります。
14	5 - (1)	54	施策の展開①「自主防災組織の育成強化・支援」について、自主防災組織だけでなく自治会との連携が効果的と思われるが、どのように考えているか。自治会活動が活発になることが防犯対策にも繋がる。	・自主防災組織の育成強化・支援のためには、地元自治会との連携は不可欠と考えております。避難訓練や資機材訓練、避難所運営訓練など自主防災組織と自治会が一緒になって取り組むことで、地域の防災力向上に繋がると考えております。ご意見を踏まえ、防災活動に関して、自主防災組織と自治会がなお一層連携が図れるように周知啓発に取り組んでまいります。
15	5 - (1)	54	施策の展開①「自主防災組織の育成強化・支援」に関して、自治会と連携する中で、自治会加入率の低下が共通の悩みとして挙がっている。自治会との連携に加え、自治会加入率を上げるための支援も検討いただきたい。	・自治会未加入者の中でも、防災の取り組みには参加したいという意向を持った市民は多数存在すると認識しており、自治会または自主防災組織の取り組みと合わせて自治会加入促進の取り組みができないか、P8、施策の展開③協働による取り組みをしやすいための環境整備の考え方に基づいて、自治会とも協議し、検討してまいりたいと考えております。
16	5 - (1)	54	施策の展開④「救急救命士の育成・強化」について、どのような取り組みを想定しているか。地方の救急救命士は仕事が少ないといった話も耳にしたことがあり、「強化」することが仕事にどう生かせるのか想像ができない。	・消防体制の強化を目的に記載しています。消防隊に所属していても救急救命士の資格を取得していない人も多いため、資格の取得促進等を想定しています。
17	5 - (1)	54	施策の展開①について、自主防災組織に登録しているが活動の連絡はほとんどないため、担当部署でも積極的にアプローチしていただきたい。	・本市におきましては、23自治会すべてに自主防災組織が設立されておりますが、組織によっては意識や取り組み内容に違いがあるなど、課題があると認識しております。今後も、防災意識の啓発を図り、自主防災組織の活性化、地域の防災力強化が図られるように取り組んでまいります。
18	5 - (1)	54	施策の展開①「避難行動要支援者名簿の整備及び個別避難計画の作成」について、避難行動要支援者名簿は作成済みで、個別避難計画は今後作成する認識でよいか。	・令和6年時点において、1,811人が避難行動要支援者名簿に含まれています。そのうち個別避難計画は164名が策定済みで、要支援者の約10%です。令和6年から令和7年にかけて、津波浸水警戒区域である伊佐、大山、真志喜、宇地泊の対象者397名のうち、避難支援等関係者への個人情報提供に同意する方について個別避難計画作成を進めてまいります。また、避難行動要支援者名簿については継続して毎年更新を行ってまいります。
19	5 - (4)	65	目標指標の「野焼きの年間通報件数」について、通報されなければいいと認識してしまう恐れがある。	・通報を受け、現場にて当事者への指導を行っており、それらの結果として、通報件数の減を図る意図で指標として設定しております。
20	5 - (5)	62	施策の展開③「公営住宅の計画的な修繕及び改善による長寿命化の推進」について、必要なコストを考えると、全ての公営住宅を長寿命化して維持するのではなく、借上げ住宅や民間の空き家を活用することも考えられるのではないかと。	・ご意見を参考に、P14、施策の展開②民間活力導入の推進と効果的な組織づくりの推進の考え方も踏まえ、民間賃貸住宅を活用し、子育て世帯等を対象とした借り上げ市営住宅を検討します。また、空き家を活用した家賃低廉化事業の導入等を検討します。
21	5 - (5)	62	住居の確保については、民間活用した場合の財政負担の比較が重要だと思われるため、今後検討をして頂きたい。	・ご意見を参考に、借り上げ市営住宅及び空き家を活用した家賃低廉化事業実施にあたっては、財政負担の比較を検討します。
22	5 - (6)	64	施策の展開③「新規公共交通サービスの検討」と「モビリティ・マネジメントの推進」について、それぞれどのような取り組みか教えていただきたい。	・令和6年3月に策定した地域公共交通計画に基づき事業を進めているものであり、新規公共交通サービスとして、デマンド交通やグリーンスローモビリティ等の効果的な施策を検討しています。

No	該当施策番号※	ページ	意見の概要	前期基本計画への修正対応
23	5 - (6)	64	また、公共交通はバリアフリー化の促進がかかせないため、記載が必要ではないか。	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通の利用促進を図る上でバリアフリー化は重要であると認識しておりますが、地域公共交通計画において、バス停等においてすべての方が利用しやすい環境づくり、歩行空間におけるバリアフリー化、ユニバーサルデザイン化等に関する位置づけを行っており、それぞれの個別計画で対応したいと考えております。
24	5 - (6)	64	<p>施策の展開③について、公共交通の促進にあたっては、自転車専用道路の観点も必要ではないか。</p> <p>基本目標3の福祉分野において、ユニバーサルデザインに触れていると思うが、基本目標5への位置づけについても検討いただきたい</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自転車専用道路等については個別計画で対応したいと考えています。都市計画マスタープランにおいて、「自転車利用環境の充実」について示しており、自転車レーンの設置等や、シェアサイクル等の推進を位置づけております。また、地域公共交通計画においても、シェアサイクルも公共交通の一つとして位置づけ、推進することとしております。ユニバーサルデザインへの対応については、基本施策(6)交通ネットワークの整備、施策の展開①において「安全・快適な環境づくり」「歩行者の安全性を確保するための取り組みを推進することとしております。 (8)公園・緑地及び墓園等の整備については、施策の展開①都市公園等の整備において「公園のユニバーサルデザイン化」を位置づけております。
25	5 - (7)	66	目標指標の「管路耐震化率」とあるが、老朽化した管路の更新も重要な視点であることから、管路の更新率を目標指標に加えてはどうか。	<ul style="list-style-type: none"> 法定の耐用期間を迎えていても実際に利用できる管も多く、実際に使用しているため、管路の更新率を目標指標に加えることは考えていません。
26	5 - (7)	66	上下水道は、ウォーターPPPなど近年関心が高まっている分野である。今後、管路の更新等がどの程度の財政負担となるのか把握する意味で、調査は必要と考える。	<ul style="list-style-type: none"> 本市の下水道事業においては、新たな開発区域である西普天間住宅地区の下水道管路施設の整備に加え、既成市街地においては、経年に伴う管路老朽化率も令和5年度末の8.1%を基点に、今後は右肩上がりに増加することが見込まれます。更新が必要な管路施設が増大することで、これらの整備に必要な財源の確保と投資の平準化が大きな課題になるものと考えております。 また、令和5年3月31日付けの『社会資本整備総合交付金等の交付にあたっての要件等の運用について(国土交通省発出)』においては、令和9年度以降、ウォーターPPPの導入を決定していることが、下水道事業の污水管改築事業における補助金の交付要件となることから、令和8年度からスタートする二期目の宜野湾市上下水道事業包括業務委託は、従来の維持管理業務に加え、施設の更新計画案の策定までを含める「更新支援型」を採用する想定ですが、コスト縮減効果の検証も大きな課題であります。
27	5 - (7)	-	下水道会計に関する記載はないが、財務状況はどのような状況か。	<ul style="list-style-type: none"> 下水道については、特別会計から公営企業会計に移行しています。使用料の改定や補助事業を活用できることもあって、比較的経営状態は良い状況です。
28	6 - (3)	78	基本施策(3)平和行政・平和教育の推進について、語り部など基地ができてからこれまでの市の状況について、地区の変遷を伝えるための取組はないのか。	<ul style="list-style-type: none"> 文化課ではイガルーシマ文化財教室を実施しており、その中で地域の歴史、文化等を学習し、地域の文化財の継承を促す講座を行っています。 博物館では西普天間住宅地区のみならず、本市の歴史や文化、地域の変遷を発信する機会として博物館事業と市史編集事業の2つの側面から取り組んでいます。博物館事業では、一地域の歴史・文化等にスポットをあてて紹介する企画展「ぎのわんの字展(あぎてん)」開催しています。また、博物館市民講座では、市民を対象に本市の歴史や民俗、自然等の多岐に渡るテーマで、座学の講座や野外巡見を行っています。次に市史編集事業では、令和6年に『ぎのわん教育のあゆみ』、令和3年に『伊佐浜の土地闘争』(解説編)、平成31年に『宜野湾市史』第8巻戦後資料編Ⅱ伊佐浜の土地闘争(資料編)を刊行しました。令和6年度からは『宜野湾市史』第5巻民俗編の解説編(ビジュアル版)の編集計画を立ち上げ、令和8年度の刊行を予定しています。

No	該当施策番号※	ページ	意見の概要	前期基本計画への修正対応
29	6 - (3)	78	<p>平和行政について、商工会の50周年行事として嘉数高台公園でさくらまつりを実施したのだが、嘉数高台の戦争の歴史等を知らない人が多かった。また、山田真山先生が制作した平和祈念像「原型」が宜野湾市にありながら、現在は鍵がかかって見ることができない。市が管理できていない状態とも耳にした。</p> <p>羽衣伝説など、様々な歴史があるが子ども達に伝わっていないようなので、市の方からPRや伝承活動を充実させていただきたい。</p> <p>管理については、以前、落書きの事件があったことで嚴重になっているかもしれない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 嘉数高台の戦争の歴史については、語り部の高齢化もあり、継承等の仕組みづくりが喫緊の課題と認識しています。平和大使の育成等を通じて、語り続けられる状況を作っていきます。嘉数区は平成15年、平成26年の2度実施しており、その際に使用したテキストを作成しております。また、一括交付金を活用した歴史文化遺産マップ（嘉数）も作成しております。山田真山先生の平和祈念像「原型」については、普天間飛行場周辺まちづくり事業として整備している普天間地域の交流拠点施設に修復した像を展示する計画です。令和9年度に完成予定であり、平和教育の拠点として利用していく予定です。市のPR活動については、市外の方の意見も取り入れ、観光の視点も入れながら手法を検討してまいります。
30	その他	-	資料3の横断的目標について、横断的であるため、総合計画の基本目標1から6すべてに●印をつけるべきではないか。	<ul style="list-style-type: none"> 総合戦略は、総合計画に位置づけた施策を再構築したものであり、当該資料はどの基本目標で示した施策と関連しているか分かりやすくするために作成したものです。
第三期宜野湾市まち・ひと・しごと創生総合戦略について				
31	総合戦略に関する意見	5	P5の地域ビジョンには、産業の振興に関するキーワードがないが、基本目標3としてしごとに関する位置づけがある。位置づけについてどのように理解したらいいか。	<ul style="list-style-type: none"> 地域ビジョンは総合計画でいう将来都市像であり、キャッチフレーズと認識いただきたい。子育て、教育、健康の3分野について、特に重視すべき市のテーマとして掲げたものである。
32	総合戦略に関する意見	14	地域リーダーの育成や女性リーダーの育成について、具体の取り組みを教えてください。	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度より、地域の人材とまちづくり団体をつなぐ役割としての地域コーディネーター養成及び地域の核となる人材育成を目的として「地域リーダー等養成講座」を実施しており、これまでに約200名が修了しました。また、令和3年度より、地域の課題をテクノロジーの力を利用して市民自ら解決に取り組むシビックテックの考え方を導入した「ICTを活用した地域課題解決策を学ぶ講座」を実施しており、約70名が修了しました。地域リーダー等養成講座終了後の活動支援としては、地域づくり推進事業（まちづくり団体へ50万円を上限に助成金を交付）を活用した自主的な活動への支援や他の助成金等の情報提供、活動相談等を行っております。ICTを活用した地域課題解決策を学ぶ講座講座では、修了生がまちづくり団体を結成するなどの効果が生まれております。
33	総合戦略に関する意見	14	具体的施策2つ目の、多様性を認め合う社会づくりについて、次世代の担い手づくりの観点から「市民性教育」を加えていただきたい。	<ul style="list-style-type: none"> 「市民性教育」の観点につきまして、P14に記載しております、協働の主体の育成や支援に包含されていると考えておりますので、「市民性教育」の取組については、今後、検討してまいりたいと考えております。
34	総合戦略に関する意見	14	<p>地域リーダーの育成と、地域を支える人材の育成はどう異なるのか。</p> <p>何となく意味はわかるが、定義があるとより理解しやすい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地域リーダーとは、自治会長や各種団体の代表レベルの、多くの方をとりまとめ、様々な団体等と連携して活動できる人材を想定しており、地域を支える人材とは、それらのリーダーを支える地域団体の役員や企画運営に関わっている住民の方を想定しております。

No	該当施策番号※	ページ	意見の概要	前期基本計画への修正対応
35	総合戦略に関する意見	14	表現として地域リーダーではなく、地域人材とした方が、意味が伝わるのではないかと。どんな人を育てたいのか、読み取りにくい。地域団体等の協働の主体をとりまとめる人材と認識していた。 全国的に取り組みが進んでいることもあり、地域リーダーは一般的に用いる言葉となる。	・平成28年度から令和4年度までは地域コーディネーター養成講座として講座を実施しており、ご指摘のとおり地域の人材や団体等をつなぐ役割の人材育成講座を実施しておりましたが、令和5年度より、地域で活動できる人材や地域の核となる人材の育成を目的に、地域リーダー等養成講座と講座の内容を変更して実施しております。地域リーダー等養成講座では、地域課題の抽出方法から企画の立て方、プレゼン方法、資金獲得の方法等を取り扱っており、地域リーダーとして主体的に活動できる人材の育成を図っております。
36	総合戦略に関する意見	14	地域リーダー等養成講座について、「地域リーダー」より「地域を支える」の方が市民の関心は高まるのではないかと。リーダーとあると気軽に参加しづらいと思う。	・当該講座は地域の核となる人材の育成を目的としており、地域リーダー等養成講座との名称になってございます。講座受講生募集の際は「ぎのわん地域づくり塾」という通称を使用しております。
37	総合戦略に関する意見	14	地域リーダー養成講座は、地域づくり塾のことか。その場合、市民が主体となった取り組みを支援するもので、リーダーを養成するものではない。 地域リーダーは自治会長とは別に、地域のコアとなる人材と認識しているがどうか。	・ご指摘のとおり、地域リーダー等養成講座はぎのわん地域づくり塾として市民に周知してございます。当該講座では、地域課題の抽出方法から企画の立て方、プレゼン方法、資金獲得の方法等を取り扱っており、地域リーダーとして主体的に活動できる人材の育成を図っております。また、地域リーダーとは、自治会長等のほか、地域団体の代表者レベルの方を想定しており、当該講座終了後も地域の核となる人材として活動できるよう、地域づくり推進事業を活用した自主的な活動への支援や他の助成金等の情報提供、活動相談等を行っており、地域の活動団体の育成を図っております。
38	総合戦略に関する意見	15	安心して働ける環境づくりについて、デジタル人材については育成支援と明記しているが、他の人材に関する記載では具体的内容が明記されていない。できるだけ長く働いてもらうための取り組みやリスクリング、オンライン講習等の推進に関する位置づけがあってもよいのでは。 リスクリングは従業者への支援として、企業が主体となって実施するイメージがある。行政主体で行うものではないと思うが、行政が産業人材の育成を目的に講習会を開催しているため、関連して取り組めると良いのでは。	・ハローワークでは、スキルアップするための職業訓練コースの案内・受講あっせんを行っており、オンラインでの講座も用意されています。また、リスクリングについても、若年者や高齢者、障害者など労働者の新たな雇い入れや、雇用の安定、人材育成に取り組む事業主に対する助成金制度など、人材育成や人材確保に取り組んでおります。基本的方向①の考え方にに基づき、基本目標の達成に向けて、ハローワークとの連携強化を図ってまいります。
39	総合戦略に関する意見	16	宜野湾市の特性を活かした産業の育成・充実について、地域の事業者数や付加価値額をKPIとして設定してはどうか。	・KPIについては、現在設定しているKPIの達成に向けて取り組みを進めてまいります。ご提言いただいたKPIにつきまして、今後、計画見直しの際に検討してまいります。
40	総合戦略に関する意見	-	宜野湾市の規模だと、施策に強弱を付ける必要があると考える。すべての施策を満遍なく充実させることは難しいと思うので、地域ビジョンが強弱の役割を持っていると理解しているがどうか。	・総合計画は、網羅的に施策を位置づけた辞書のような役割となります。一方、総合戦略は特化した計画とすることで役割分担を図ることも考えられますが、企業版ふるさと納税の寄附金を活用するために必要な計画ということもあって、様々な施策を拾えるような表現としております。